

2024年度後期

特殊研究(サブゼミ) 募集パンフレット

※ 個人情報が含まれているので、取り扱いには十分注意すること。

2024年度 特殊研究(サブゼミ)募集教員一覧

理論分析講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
①-1	芦谷 政浩	ミクロ経済学	ashiya@econ.kobe-u.ac.jp
①-2	清水 崇	ミクロ経済理論	shimizu@econ.kobe-u.ac.jp
①-3	春山 鉄源	マクロ経済学、経済成長理論	haruyama@econ.kobe-u.ac.jp
①-4	小林 照義	ネットワーク科学、マクロ経済学、金融政策	kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp
①-5	宮川 栄一	ゲーム理論・行動経済学	miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp

歴史分析講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
②-1	橋野 知子	近現代日本経済史、経済発展論	hashino@econ.kobe-u.ac.jp
②-2	綿貫 友子	中近世日本経済史	watanuki@econ.kobe-u.ac.jp

計量・統計分析講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
③-1	難波 明生	統計学・計量経済学	namba@econ.kobe-u.ac.jp
③-2	松林 洋一	計量経済学・国際マクロ経済学	myoichi@econ.kobe-u.ac.jp
③-3	末石 直也	計量経済学	sueishi@econ.kobe-u.ac.jp

技術・環境分析講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
④-1	中村 健太	イノベーションの経済学・企業経済学	knakamura@econ.kobe-u.ac.jp
④-2	阪本 浩章	経済理論、数値計算	sakamoto@econ.kobe-u.ac.jp

比較経済政策講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
⑤-1	梶谷 懐	中国経済論、開発経済論	kajitani@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-2	金京 拓司	マクロ経済・金融実証分析	kinky@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-3	宮尾 龍蔵	マクロ経済政策、金融	miyao@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-4	Agata WIERZBOWSKA	銀行・金融政策、ヨーロッパ経済	wierzbowska@econ.kobe-u.ac.jp

産業・社会政策講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
⑥-1	勇上 和史	労働経済学	yugami@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-2	衣笠 智子	農業政策・人口政策	kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-3	永合 位行	経済思想	tnago@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-4	鈴木 純	経済体制論	suzukij@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-5	水野 倫理	産業組織論	mizuno@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-6	山岡 淳	社会保障政策・医療経済学	yamaoka@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-7	藤岡 秀英	社会政策 福祉の経済社会学	fujioka@econ.kobe-u.ac.jp

金融・公共政策講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
⑦-1	玉岡 雅之	財政学・地方財政論	http://www2.kobe-u.ac.jp/~tamachan/ の問い合わせ欄
⑦-2	岩壺 健太郎	ファイナンス、国際金融	iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-3	宮崎 智視	財政学、公共経済学	miyazaki@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-4	大坪 陽一	財政学、公共経済学	大坪先生に連絡を取りたい場合は、教務係(econ-kyomu@office.kobe-u.ac.jp)まで連絡ください。

国際経済政策講座

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
⑧-1	中西 訓 嗣	国際経済学（国際貿易論），ゲーム理論の応用	nakanishi@econ.kobe-u.ac.jp
⑧-2	胡 云 芳	国際経済学 マクロ経済学	yhu@econ.kobe-u.ac.jp

経済経営研究所

頁	教員名	研究領域	メールアドレス
⑨-1	瀧 俊 毅	応用計量経済学、行動経済学、環境経済学	shen@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-2	上 東 貴 志	経済理論、マクロ経済動学、計算社会科学	tkamihig@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-3	高 槻 泰 郎	日本経済史	ytaka@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-4	柴 本 昌 彦	マクロ経済政策、景気循環変動に関する実証分析	shibamoto@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-5	佐 藤 隆 広	現代インド経済論	takahirodevelop@gmail.com
⑨-6	村 上 善 道	ラテンアメリカ経済論	y-murakami@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-7	北 野 重 人	国際マクロ経済学	kitano at rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-8	浜 口 伸 明	空間経済学	hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-9	岩 佐 和 道	国際経済学、マクロ経済動学	iwasa@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-10	家 森 信 善	金融システム	yamori@rieb.kobe-u.ac.jp

※ 各教員のメールアドレスは個人情報ですので、取り扱いには十分注意してください。

① 理論分析講座

教 員 名	芦 谷 政 浩 教 授	①-1
専 門 分 野	ミクロ経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ミクロ経済学の理論的研究を行なう。ゼミの進め方は、学生と相談の上で決定する。所属ゼミ生は、最低でも毎週10本以上の英語論文を読むこと。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>Game Theory Analysis of Platform Information Utilization</p>		
連 絡 先	ashiya@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	清 水 崇 教 授	①-2
専 門 分 野	ミクロ経済理論	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム理論、サーチ理論、組織の経済学などを含むミクロ経済理論に基づく理論研究の指導を行います。 ・具体的には、まず各学生の関心に従って選んだ教科書、論文の報告を通じて課題を明確にし、それに基づいて論文を作成してもらいます。 ・学部レベルのミクロ経済学、ゲーム理論、経済数学の知識を前提とします。 ・必ずオフィスアワーに参加してください。 <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>“A Search Theory of Electronic Money”「スポーツ経済学における逐次手番ゲームとフリーエージェントを考慮したモデル分析」「寡占市場におけるCSRについて：中国のモバイル決済市場に基づいた考察」「社会的選好を持つ個人による。異時点間の選択における近視眼性の分析」「広告参照点が消費者の意思決定に与える影響」</p>		
連 絡 先	shimizu@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	春 山 鉄 源 教 授	①-3
専 門 分 野	マクロ経済学、経済成長理論	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>最終的な目標は修士論文の作成であり、主に関連分野の教科書や論文の輪読をおこなうこととなります。研究課題と手法に関しては、可能な限り参加者の希望を取り入れる計画です。理論的なアプローチに興味がある場合は、マクロ経済学Iの履修を強く推奨します。また学生の希望に基づき、Pythonを使った実証分析やシミュレーションの学習を取り入れることも可能です。使用言語は日本語と英語の両方に対応可能です。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>“Heterogeneous Effects of Transportation Infrastructure within Cities: Evidence from High-Speed Rail in Kyushu, Japan”, “The Effects of the Household Registration System on Regional Inequality in China”, 「イノベーションと産業の異質性について」, 「児童労働と教育に関する実証分析」, 「大学院教育が就労と賃金に与える影響について」</p>		
連 絡 先	haruyama@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	小 林 照 義 教 授	①-4
専 門 分 野	ネットワーク科学、マクロ経済学、金融政策	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ネットワーク科学は、経済・社会現象をネットワーク現象として見ることで、法則性・規則性を見つけ出します。学際的な新しい研究手法で、分析対象は経済現象にとどまらず社会ネットワーク等も扱います。分析にはある程度の数学、統計、およびプログラミングの技術が必要です。データを用いたネットワーク分析を学びたい学生だけでなく、理論的なマクロ経済モデルでネットワーク現象を分析したい学生も歓迎します。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>ネットワークゲームにおける動学的安定性に関する分析</p>		
連 絡 先	kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	宮 川 栄 一 教 授	①-5
専 門 分 野	ゲーム理論・行動経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>社会における人々の行動の裏側にある仕組みや原因などを理解するために、ゲーム理論と行動経済学を使った数理モデルを作って、理論的な分析を行います。行動の制約やタイミング、個人が持つ情報などをゲーム理論を使ってモデル化して、行動経済学を使って現実の人間の動機・心理を数式化します。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「メディアの偽情報比率」「第三者決済による最適還元率」「社外取締役の役割」「二次創作者と原作者のゲーム理論分析」「曖昧な発言での依頼」「神社参拝の合理性」「寡占市場でのメニュー価格」「馬券購入でのシグナリング」「素直になれない人」「複数プラットフォームの協力と価格戦略」「自意識と気遣い」「オンラインゲームにおける不正行為の取締まり」</p>		
連 絡 先	miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp	

② 歴史分析講座

教 員 名	橋 野 知 子 教 授	②-1
専 門 分 野	近現代日本経済史、経済発展論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>近現代日本の経済発展の要因をめぐって、具体的な研究をしたい学生を歓迎します。先行研究のサーベイ、資料収集・フィールド調査を進めて実証的な経済史の論文を書きたいという意欲のある学生と一緒に勉強したいと思っています。日本だけではなく途上国を対象とする研究や比較経済史研究に意欲のある学生も、指導します。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>勝山機業兄弟合資会社の経営に診る福井県織物業の構造変化、戦間期播州織における多品種生産の実態、灘の酒ブランドの再構築と産地の展開、など。</p>		
連 絡 先	hashino@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	綿 貫 友 子 教 授	②-2
専 門 分 野	中近世日本経済史	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>日本中近世経済史に関する論稿・著作を輪読し、研究とそのための作業に関する理解を深めるとともに修士論文課題の選定と執筆に向けた作業報告と討論を行う。大学入学以前の(科目)履修歴は問わないが、史料解読が必須であるので高等学校で履修する程度の日本史・古文・漢文の基本知識(古文・漢文に関しては、読解能力)を備えていることを受講の前提とする。また、大学院入学以前に経済史に関する学位論文(大学の卒業研究ないしはそれに相当する研究論文・研究ノート)執筆がある者が望ましい。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
連 絡 先	watanuki@econ.kobe-u.ac.jp	

③ 計量・統計分析講座

教 員 名	難 波 明 生 教 授	③-1
専 門 分 野	統計学・計量経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>統計学および計量経済学の理論に興味がある学生を希望します。そのために「計量経済学A」・「計量経済学B」の講義は必ず履修してください。取り扱う内容については、受講者と相談の上決定します。実証研究を行う学生を受け入れる場合もありますが、基本的には統計学・計量経済学の理論を主たる研究分野とするので、実証研究を希望する学生は必ず応募前にオフィスアワーで相談してください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>経済の集積、分布の地域発展への影響に関する空間計量経済分析 中国の新エネルギー車補助政策が企業イノベーションに与える影響</p>		
連 絡 先	namba@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	松 林 洋 一 教 授	③-2
専 門 分 野	国際マクロ経済学の実証分析	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>学部レベルのマクロ経済学、計量経済学の知識はすでに習得していること。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>The impact of immigrants on trade: Evidence from japan</p>		
連 絡 先	myoichi@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	末 石 直 也 教 授	③-3
専 門 分 野	計量経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>計量経済学の理論研究を行う。実証研究を行う学生を受け入れる場合もあるが、分析手法の使い方を勉強を したいだけの学生は受け入れない。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>“Forecasting the Japanese Macroeconomy Using High-Dimensional Data”, “Is a Pension Increase Good for Health? Empirical Evidence from China’s New Rural Pension Scheme”</p>		
連 絡 先	sueishi@econ.kobe-u.ac.jp	

④ 技術・環境分析講座

教 員 名	中 村 健 太 准教授	④-1
専 門 分 野	イノベーションの経済学・企業経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>企業・産業に関連した実証研究に興味がある学生を募集します。教員の担当科目は、『現代技術論』（内容は、イノベーションや知的財産権の経済学）ですが、修士論文のテーマはイノベーション以外でも構いません。ゼミの履修を検討している場合は、オフィスアワーに参加してください。□</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>“Impact of trademark-protected new product launches on corporate performance” “Factors affecting patent cooperation between Japanese universities and regions under industry-university collaboration”</p>		
連 絡 先	knakamura@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	阪 本 浩 章 准教授	④-2
専 門 分 野	経済理論, 数値計算	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>経済学の理論に関する研究論文を執筆します。希望する学生はオフィスアワーに参加してください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
なし		
連 絡 先	sakamoto@econ.kobe-u.ac.jp	

⑤ 比較經濟政策講座

教 員 名	梶 谷 懐 教 授	⑤-1
専 門 分 野	中国経済論、開発経済論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>中国を中心としたアジア諸国の経済発展について、開発経済学ならびに歴史分析を含む制度の経済学の視点から検討を加えます。ミクロ・マクロ経済学に関する大学学部レベルの知識、ならびに学術的な文献を読みこなせるだけの英語力を習得していることを要件とします。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>中国におけるインターネットの普及が地域間の格差に与える影響の分析、中国政府の不動産価格規制政策の導入が住宅価格に与える影響の分析など</p>		
連 絡 先	kajitani@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	金 京 拓 司 教 授	⑤-2
専 門 分 野	マクロ経済・金融実証分析	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>マクロ経済・金融に関する研究テーマで、計量経済学や機械学習の手法を用いた実証分析を行いたい学生を歓迎いたします。統計学の基本的知識を有しており、計量経済ソフトウェア（R推奨）の使い方を独学で学ぶことが必須です。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>為替レートのパススルー効果、為替レートのJカーブ効果、石油ショックのマクロ経済的影響</p>		
連 絡 先	kinky@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	宮 尾 龍 蔵 教 授	⑤-3
専 門 分 野	マクロ経済政策、金融	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>本演習のテーマは、マクロ経済政策・金融の実証分析です。日本経済や海外経済の現実問題・政策課題について、データに基づく実証分析を行います。金融政策の効果、金融と実体経済との相互関係、金融と財政との関わりなどに関心を持つ学生を歓迎します。ゼミへの参加希望者は事前にメールでアポイントメントをとり、教員面談を行ってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p>		
連 絡 先	miyao@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	Agata WIERZBOWSKA 准教授	⑤-4
専 門 分 野	銀行・金融政策、ヨーロッパ経済	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>このゼミでは、金融政策・銀行システムとヨーロッパ経済の実証分析をテーマにします。金融政策の効果、銀行システムの状態と役割やヨーロッパ経済・統合などに興味を持つ学生を歓迎します。ゼミ中は、先行研究や専門教科書の発表、自身の研究の発表を行います。ゼミへの参加希望者は、事前にメールでアポイントメントをとり、教員と面談を行ってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>Spillover Effect of UK Financial Market on the Major Global Stock Market; EU諸国への欧州中央銀行の非伝統的な金融政策の波及効果について</p>		
連 絡 先	wierzbowska@econ.kobe-u.ac.jp	

⑥ 産業・社会政策講座

教 員 名	勇 上 和 史 教 授	⑥-1
専 門 分 野	労働経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>このゼミでは、労働経済学をベースとした実証研究を行います。労働市場や労働政策について、理論的・実証的な関心があることを求めます。また計量経済学を用いた実証分析を志す方に関連科目の履修を強く求めます。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>「子ども数が女性の労働供給に与える影響」「コロナ禍の外出自粛が家族形成に及ぼす影響」「高齢者雇用の促進が労働災害の発生率に与える影響」「男女のスキル格差が昇進格差に与える影響」など</p>		
連 絡 先	研究室:第2学舎301, yugami@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	衣 笠 智 子 教 授	⑥-2
専 門 分 野	農業政策・人口政策	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>人口・農業・食料のいずれかに関連した研究をする学生を募集します。ゼミでは、主に、計量分析により修士論文を書くように指導します。私の指導学生は、都道府県、世界各国、中国の省別、個票データ、時系列データなどのデータを使って計量分析により論文を書いてきました。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>日本における男女別結婚状況と社会経済要因、農協と日本農業の発展に関する考察、中国における出生性比に関する計量的0、フィリピンの人口変化と経済成長に関する計量的研究</p>		
連 絡 先	kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	永 合 位 行 教 授	⑥-3
専 門 分 野	経済思想	
ゼミの内容と学生への要望		
ゼミでは経済思想に関する研究を行います。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
『A. センの正義論』、『ジョン・ロールズの正義論に関する一考察』、『ケインズの経済思想』		
連 絡 先	tnago@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	鈴 木 純 教 授	⑥-4
専 門 分 野	経済体制論	
ゼミの内容と学生への要望		
以下のようなテーマを研究対象とします。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済体制論（福祉国家論を含む）に関する理論的・学説史・思想史的研究 ・ 非営利経済部門（組織）、サード・セクターに関する理論的・実証的研究 		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「社会的企業の意思決定構造に関する考察」、 「サード・セクターと地方公共団体のパートナーシップ」、 「T. H. グリーンの自由と公共善 -共生社会の思想構築に向けた考察 -」		
連 絡 先	suzukij@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	水 野 倫 理 教 授	⑥-5
専 門 分 野	産業組織論（理論）	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>寡占市場における企業の行動とその影響について理論的な研究を行います。研究を行うためにはゲーム理論の基礎的な知識が必要です。また、代数計算を行うソフトウェア（Mathematica や Maxima）を扱えることも必要ですが、ソフトウェアの使い方は講義中に解説します。特定の産業を分析するような研究および実証研究の指導は行っていません。</p> <p>定員を超える希望者がいる場合は研究計画書によって選考を行います。研究計画書が適切かは事前に問い合わせただけければ、回答できます。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>“Endogenous Privacy and Heterogeneous Price Sensitivity”, 「複数投入物市場の共謀に関する研究」, 「CSR 企業の経営目的と戦略的民営化」, 「生産共有の効率性と炭素排出に関する研究」</p>		
連 絡 先	mizuno@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	山 岡 淳 准 教 授	⑥-6
専 門 分 野	社会保障政策・医療経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>医療・介護・年金等の社会保障政策や関連するアウトカム(健康・コミュニティ等)を対象とした、実証的研究を行います。当該領域に対し問題意識を持ち課題解決に向け、経済学の学術的知見や手法を用いた研究を、明るく楽しんで行える方を希望します。オフィスアワーに参加されることを強く推奨します。</p> <p>研究手法に関しては、研究テーマに応じて議論し、適宜決定し指導します。医療ビッグデータやアンケート調査の計量分析、インタビュー調査の質的分析等が考えられます。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>着任初年度なので修了生はいません。</p>		
連 絡 先	yamaoka@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	藤 岡 秀 英 教 授	⑥-7
専 門 分 野	社会政策 福祉の経済社会学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>日本またはドイツの社会保険（年金、医療、介護）、社会福祉、地域創生にかんする研究指導をおこないます。学術論文、厚生労働白書、専門書籍などを積極的に読むこと。現地調査を行う研究方法を重要視します。ゼミは、対面とオンラインの両方で実施します。少なくとも1か月に2回以上、研究報告をおこなう意欲が求められます。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>日本の年金制度、医療と福祉、フリーランス、地域創生政策</p>		
連 絡 先	fujioka@econ.kobe-u.ac.jp	

⑦ 金融・公共政策講座

教 員 名	玉 岡 雅 之 教 授	⑦-1
専 門 分 野	財政学・地方財政論	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>演習では国や地方自治体が行っている様々な政策について、その政策形成過程や実施過程、さらには実施後の経済社会に与える影響を経済学や財政学の手法を用いて分析・検証を行っています。現実の政策についてどのように立案したらよいか、どのように実施していったらよいか、その結果どうなるかについて少しでも興味のある学生を希望します。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>1. 大阪における産業振興政策の効果の実証分析 2. ヘドニックアプローチによる地価形成の実証分析 3. 地方消費税の清算基準について一仕向地主義に即した配分方法に係る政策提言ー など</p>		
連 絡 先	https://www2.kobe-u.ac.jp/~tamachan/ の問い合わせ欄	

教 員 名	岩 壺 健 太 郎 教 授	⑦-2
専 門 分 野	ファイナンス, 国際金融	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ファイナンス（株式、為替、コモディティ、暗号資産、債券）分野の実証研究、および、機械学習を使ったデータ分析を行いたい大学院生を歓迎します。コンピュータスキルが必須です。PythonまたはRを勉強します。英語で文献が読めることも必要です。マイクロ I、計量経済学、時系列分析を履修することを義務とします。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>“Deep learning for predicting Exchange rate by term structure” “Price Discovery in Gold Futures Markets” 「JASDAQにおける中小企業株式流動性に関する研究」 「金融政策決定会合と株価」</p>		
連 絡 先	iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	宮 崎 智 視 教 授	⑦-3
専 門 分 野	財政学・公共経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>財政学・公共経済学の実証分析手法について学び、学位論文を執筆します。その他詳しいことは、以下のサイトを参照のこと。 https://sites.google.com/view/tomomisite2/home/lecture-jpn/grad-seminar</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「日本における財政移転と人口移動」, 「空港ターミナルビルの所有形態と効率性」, 「青少年期の経験が健康・所得に与える影響とその経路：日本版総合社会調査を用いた計量分析」</p>		
連 絡 先	miyazaki@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	大 坪 陽 一 准 教 授	⑦-4
専 門 分 野	ファイナンス	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ファイナンス領域における実証研究をテーマとします。ファイナンスの理論および計量経済学、特に時系列分析の基礎知識があること、MatlabやRなどの計量ソフトの基礎的な技能を習得していることを要件とします。学術論文の読解、プレゼンテーション、論文執筆など、すべて原則英語で行います。参加希望者はEメールでアポイントをとり、面接をおこなってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p>		
連 絡 先	大坪先生に連絡を取りたい場合は、教務係(econ-kyomu@office.kobe-u.ac.jp)まで連絡ください。	

⑧ 国際経済政策講座

教 員 名	中 西 訓 嗣 教 授	⑧-1
専 門 分 野	国際経済学（国際貿易論），ゲーム理論の応用	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ゼミのテーマは「国際経済学」です。私はこれまで国際貿易とそれにかかわる人々の経済厚生との関係についての数理的分析や貿易政策に関するゲーム理論的分析を行ってきましたので、そうした分野に関心のある人には最適なゼミです。もちろん、他のテーマでも国際経済学の範囲であれば問題ありません。どのような事柄をどのような方法論で扱うかよく分からないという場合には、中西訓嗣・広瀬憲三・井川一宏編『国際経済理論』（有斐閣、2003年）や中西訓嗣著『国際経済学 国際貿易編』（ミネルヴァ書房、2013年）、Noritsugu Nakanishi, "The Essence of International Trade Theory" (World Scientific, 2019)を参考にしてください。</p> <p>※私のゼミに応募する可能性のある人は（第1希望でなくても）必ずオフィスアワーに来てください。オフィスアワーに来ていない人の申請は受け付けません。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>「コロナ後における日本経済の回復---GTAPモデルに基づく分析」 「GTAP モデルに基づく日中韓三国の貿易政策に関する応用分析」 「複数財生産企業による最適生産範囲の内生的決定と貿易自由化」 「国際寡占状況におけるFTA 原産地規則の累積と域内・域外の経済厚生」 「Financial Market Imperfections, Development Banking and Growth: Theory and Evidence」</p>		
連 絡 先	nakanishi@econ.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	胡 云 芳 教 授	⑧-2
専 門 分 野	国際経済学 マクロ経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ゼミでは主に二つの内容を中心に勉強しています：1) 国際貿易理論&関連計量分析、2) 一般均衡動学モデルの理論分析&関連数値計算。これらのテーマに興味を持っている方を歓迎します。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>"Measuring the Change in Production and Value-Added Trade: the Case of Automobile Industry in GVC"</p>		
連 絡 先	yhu@econ.kobe-u.ac.jp	

⑨ 經濟經營研究所

教 員 名	瀨 俊 毅 教 授	⑨-1
専 門 分 野	行動経済学、応用計量経済学、環境経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>経済実験やアンケート等の手法を用いて、経済行動に大きく影響しているにもかかわらず、これまで無視され誤解されてきた人の不合理性を研究することを主なテーマとして考えています。計量経済分析手法の習得が修士論文作成に不可欠となります。ゼミの時間はそれぞれの研究や既存研究を発表して、議論を行います。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
(1) An empirical analysis on the determinants of overweight and obesity in China. (2) Factors affecting participation in health checkups: Evidence from Japanese survey data.		
連 絡 先	shen@rieb.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	上 東 貴 志 教 授	⑨-2
専 門 分 野	経済理論、マクロ経済動学、計算社会科学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ゼミの内容及びゼミ生の研究テーマは、ゼミ生の希望を重視します。学生への要望は特にありません。自身の専門は動的最適化に基づく経済理論に加え、近年は、計算社会科学に関連する研究も行っています。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>「電子マネーが貨幣需要に与える影響について」、「ピア効果による流動児童への影響に関する実証分析」、「中国における最低賃金基準の引き上げが労働者就業に与える影響に関する実証分析」、「テレワークが労働者の生活時間に与える影響」、「中国における購入規制政策が住宅価格に与える効果について」、「The Relationship Between Trade Openness and Income Shares As the Income Inequality」、「失業と内生的成長に関する理論モデル」、「環境と技術選択に関する動学分析」</p>		
連 絡 先	tkamihig@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	高 槻 泰 郎 准 教 授	⑨-3
専 門 分 野	日本経済史	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>本演習のテーマは「経済史」です。経済史学とは、過去に存在した市場・経済組織などの動態を経済学・歴史学の知見を用いて分析する学問です。本演習では、日本ないし他国・他地域において過去に存在した市場・経済組織などを分析することを通じて、経済学的に意義のある論点を抽出する訓練を行います。研究者志望でない学生には、経済史学の先行研究を熟読し、特定の国や地域の経済の成り立ちを理解するための課題を遂行してもらいます。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「天保改革期大坂の株仲間政策」、「近世日本における物流統制策」、「江戸時代における株仲間一日中同業者組合比較を中心に—」</p>		
連 絡 先	ytaka@rieb.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	柴 本 昌 彦 教 授	⑨-4
専 門 分 野	マクロ経済政策、景気循環変動に関する実証分析	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>【ゼミの内容】 自身の研究の発表、先行研究の発表、(希望があれば)マクロ時系列分析や金融政策に関する教科書の輪読</p> <p>【学生への要望】 英語の論文を読む能力を有していること。 学部レベルのマクロ経済学と計量経済学の知識を有していること。 マクロ金融政策・景気循環変動・時系列分析に関心のある学生を受け入れます。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「銀行パネルデータを用いたマイナス金利政策の影響の分析」「中小企業の企業属性と資金調達手段の関連性に関する考察」「Nowcasting手法を用いた兵庫県四半期GDP成長率推計方法の提案」「米国金融政策ショックの中国生産と物価へのスピルオーバー効果」「欧州のクレジットリスクが实体经济に与える動学的影響—Local Projectionを用いて—」「日本のマクロ経済ショックの国際スピルオーバー、フィードバック、波及経路の実証分析: Global VARによる国際相互依存関係の検証」</p>		
連 絡 先	shibamoto@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	佐 藤 隆 広 教 授	⑨-5
専 門 分 野	現代インド経済論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ゼミでは、学部高学年で学ぶマクロ経済学・ミクロ経済学・計量経済学の理解が必須です。TSP、Eviews、STATA、Rなどの統計ソフトの利用にも習熟していれば、なおいっそう、ゼミでの学習が円滑になるかと思いますが、こちらは未経験者でも入ゼミ後に習得すれば問題ありません。取り扱うテーマは相談に応じますが、ゼミではインド経済のデータを利用した何かしらの実証分析を行います。インド経済に関する研究書や研究論文を多数読んでいる学生を歓迎します。また、本ゼミは、村上善道先生と共同で運営している。村上先生の演習を同時に履修することを推薦します。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>『インドの銀行部門の効率性に関する実証分析』、『ヒンドゥー教徒相続（改正）法とインド女性の教育—「全国家族健康調査」（2015-16年度）を利用して—』</p>		
連 絡 先	takahirodevelop@gmail.com	
教 員 名	村 上 善 道 准 教 授	⑨-6
専 門 分 野	ラテンアメリカ経済論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ラテンアメリカをはじめとする発展途上国・新興国における経済改革、グローバル化、所得格差などに関する特定のテーマに関して文献調査を行い、マイクロデータやクロスカントリーデータを用いた実証研究を行うためのスキルを学びます。学生への要望は1)経済学研究科におけるコースワーク（ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学）に誠実に取り組むこと、2)データを用いた実証研究を行うこと、3)英語で書かれた学術論文が読めることの3点です。詳細は以下を参照してください。</p> <p>https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/users/y-murakami/file/seminar2024.pdf</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「地域経済統合の「深さ」が日本の対外直接投資に及ぼす影響」、"The Impacts of Land Reforms on Land Productivity in Cuba: Evidence from Crop-Level Panel Data"</p>		
連 絡 先	y-murakami@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	北 野 重 人 教 授	⑨-7
専 門 分 野	国際マクロ経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>Dynamic Stochastic General Equilibrium (DSGE) モデルの枠組みで、国際マクロ経済学(特に新興国)の諸問題を勉強する予定です。基礎的な経済数学の知識が必須です。また、matlabというソフトウェアを用いますので、このソフトウェアの基本的な知識の習得が必要になります。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>The Transmission of Commodity Price Fluctuations to Emerging Economies: Cross-Country Analysis</p>		
連 絡 先	kitano at rieb.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	浜 口 伸 明 教 授	⑨-8
専 門 分 野	空間経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>修士論文作成を目標に、空間経済学の理論と実証に関する文献調査と地域データ分析を学びます。私の授業「空間経済学」を履修してください。英語の論文が読めることが必要です。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>産業集積、都市・地域空間形成、所得格差、人口移動、地域労働市場</p>		
連 絡 先	hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	岩 佐 和 道 教 授	⑨-9
専 門 分 野	国際経済学、マクロ経済動学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ゼミでは、研究の報告や既存研究の報告、および教科書の輪読を行います。理論モデルの分析に関心がある学生を歓迎します。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>修了生はいません。</p>		
連 絡 先	iwasa@rieb.kobe-u.ac.jp	
教 員 名	家 森 信 善 教 授	⑨-10
専 門 分 野	金融システム	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>日本の金融システムに関する研究を行っています。私の研究関心については、最近の研究業績を参照してください。 https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/faculty/global_finance/n_yamori.html 2年間でしっかりとした修士論文を書くことを目指します。ゼミとして共通図書を読むことはせず、それぞれの研究に対して助言・指導する形で進めます。 私の担当する金融システムの講義を受講してください。 学外者を招いた研究会・シンポジウムを開催していますので、必ずしも研究テーマに沿わなくても参加してください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>「金融知識が家計の電子決済方式の選択に与える影響—中国家庭金融調査からの証拠」（2022年）</p>		
連 絡 先	yamori@rieb.kobe-u.ac.jp	